様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物　春夏人参栽培暦

かとり農業協同組合
多古町園芸部　人参部会もっと安心生産班

１．土づくり　☆完熟堆肥又は緑肥を施用する。

２．施肥　　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守

◎化学肥料由来の窒素成分量の上限として１０．０kg／１０ａまで

※「多古根菜ブリケット」については上限約１８０ｋｇ（化成肥料由来窒素 9.5 kg）まで施用可能です。

※窒素が不足する場合には「ヘルシー有機」「味好１号（6-8-4）」「味好２号（7-2-7）」で増肥して下さい。

（有機 100%のため使用量の制限は一切ありません。）

肥料名		施肥量(kg)	10a 当たりの成分施用量			化学肥料由来窒素
			窒素	リン酸	加里	
施肥例1	多古人参配合 785（7-18-5 内有 1.9%）	１８０	12.6	32.4	9	9.2
	リンスター３０	４０	0	12	0	
	苦土石灰	６０	0	0	0	
施肥例2	多古根菜ブリケット（9-13-8 内有 N3.7%）	１２０	10.8	15.6	9.6	6.4
	リンスター３０	４０	0	12	0	
	苦土石灰	６０	0	0	0	

３．防除　☆防除暦の遵守　化学合成農薬９成分回数以下※ユニフォーム粒剤、アミスターオプティフロアブルについては成分回数２カウントになりますのでご注意下さい。★「ゼンターリ顆粒水和剤」1000 倍　発生初期但し収穫前日まで【ｺﾅｶﾞ:ﾖﾄｳﾑｼ:ｱｵﾑｼ:ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ:ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ:ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ】★「Z ボルドー」500 倍【黒葉枯病】★「ポリオキシン AL 水和剤」収穫７日前まで　500 倍　５回以内【黒葉枯病】★については防除回数に含まない。

薬剤名	希釈倍数 処理量	対象病害虫	使用時期 使用回数	備考 (耕種的防除の実施等)
D-D・テロン　（1） または クロピク 80・ドロクロール　（1）	1.5～2ml／穴 15～20 L/10a	ﾈｸﾞｻﾚﾈﾝﾁｭｳ、ﾈｺﾌﾞﾈﾝﾁｭｳ、ｺｶﾞﾈﾑｼ類幼虫	作付の 10～15 日前まで　１回	均一に散布し、丁寧に土壌を混和する。 しみ腐病の発生が多い圃場には作付をさける。
	2～3ml/穴	ﾈﾝﾁｭｳ類、ﾊﾘｶﾞﾈﾑｼ類、ﾈｷﾘﾑｼ類、一年生雑草	１回	
ネマトリンエース粒剤（1）	20kg／10 a	ﾈｺﾌﾞﾈﾝﾁｭｳ、ﾈｸﾞｻﾚﾈﾝﾁｭｳ	播種前・１回	
ユニフォーム粒剤（2）	❶9～18kg／10a ❷6～18kg／10a	❶しみ腐病 ❷根腐病、白絹病	播種前・１回	
フォース粒剤　（1）	❶12kg／10a ❷4kg／10a	❶ｸﾛｷﾉｺﾊﾞｴ類、 ❷ﾈｷﾘﾑｼ類	❶播種前・１回 ❷播種時・１回	❶全面土壌混和 ❷作条土壌混和
トレファノサイド粒剤 2.5（1）	4～6 kg／10 a	一年生雑草（ﾂﾕｸｻ科、ｶﾔﾂﾘｸﾞｻ科、ｷｸ科、ｱﾌﾞﾗﾅ科を除く）	播種直後・１回	
アミスターオプティフロアブル（2）	1000 倍	しみ腐病、黒葉枯病、斑点病、菌核病、うどんこ病	収穫２１日前まで ２回以内	
ロブラール水和剤　（1）	1000～1500 倍	黒葉枯病、 斑点病	収穫１４日前まで ４回以内	
ストロビーフロアブル（1）	2000～3000 倍	黒葉枯病、 斑点病	収穫７日前まで ３回以内	
アファーム乳剤　（1）	2000 倍	ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類、ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ、ﾎﾓﾉﾀﾞﾆ	収穫前日まで ３回以内	
ベネビア OD(1)	❶2000 倍 ❷4000 倍	❶ｱﾌﾞﾗﾑｼ類 ❷ｷｱｹﾞﾊ、ﾖﾄｳﾑｼ、ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	収穫前日まで	
スタークル顆粒水溶剤(1)	❶400 倍 株元灌注 ❷2000 倍	❶ﾄﾋﾞｲﾛﾋｮｳﾀﾝｿﾞｳﾑｼ、ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類 ❷ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	❶収穫 21 日前まで １回 ❷収穫７日前まで ２回以内	

月	１１月~１２月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月
防除						←→	←→	